

---

## Catch the eye 2018年1月

---

2018/1/2 穏やかに幕開け  
(火)

元日の昨日も今日も、大阪は穏やかに晴れている。初日の出も望めた。今朝は西空に満月を送った。風もなく、気温も平年並み。商業施設の大半は今日から初売り。新年も早々と動き出した。

もともと熟睡する方でよく眠るが、昨日元日は早起きして本を読んだ。新年の初日だから心身を清める意味でも。さて今年はどうな一年になるだろうか。2018年のはじまり、始まり。

2日早朝

新年初の満月



2018/1/11 京都JR二条駅  
(木)

ホームから望める西空



2018/1/12 京都御苑  
(金)

仕事の合間にちょっと散歩



2018/1/16 いい店みつけた  
(火)

あっという間に1月も半分が過ぎた。ずっと厳しい寒さが続いてきたが、今日は少し気温は高め、久しぶりに半コートを着て出た。年初から京都へ出かけることが重なった。仕事でも京都へ行くのは大歓迎。

“今日は通ってみよう…”。先週金曜日の朝、いつも気になりながら表通りから京都府庁へ向かっていたが、表通りから細い石畳の路地へ入った。すぐにギャラリーカフェがあるが、地元の人々の生活空間に立ち入るようで気が引けていた。

路地を歩いてすぐにお家ギャラリーカフェが左にあり、突き当りを右に曲がると左右に京町屋が慎ましく並ぶ。先の通りまでは20メートルほど。こんな風だったのかと左右に眺めながら歩いた。すると中間ほどのお家の窓格子に張り紙。

京のおばんざい屋食がいただけるらしい。仕事はいったん午前中で終わるので、絶対ここで昼食をとろうと決めた。11時少し過ぎ、暖簾をくぐった。正面に小さなショーケース、その奥が調理場、というより、台所。左は座敷机一つと、台所に向けて3人座れる堀のカウンター。

母娘でやっているらしい。アラフォー娘さんが調理、お母さんが接客。

昼食メニューは膳一つ、800円。料理を待っている間に年配の女性が入店、新年の挨拶を交わして、会話を聞いていると、常連さんらしい。しばらくして、タッパーがいくつか出てきて、持ち帰りの注文。

その注文がなかなか終わらない。自分の昼食はしばらくして出てきて、ああ、京都らしいなあと思いながら、味わっている間も、タッパーが出てくる出てくる。『よお食べはるから…』と、あれやこれや注文してタッパーが重なる。たぶん高齢者への配食だろうと想像はできた。

それは違いなかったが、会話をさらに聞いていると、どうやら個人でご近所の高齢者3人の方へ定期的にごちそうされているらしい。このお店のように美味しいおばんざいはなかなかないからと。そうか、京都人にとってもそうなのかと、盛り付けもきれいな自分の昼食膳を眺めた。

やりとりを時々見ながらこちらの笑みがこぼれた。女性の方もこちらを見て微笑んだ。結局自分の方が先に店を出たが、その前に声をかけた。『高齢者の方へのお届けですね』。二言三言言葉を交わし、『本当にこういうお店があると助かりますよね』と返した。

すると奥の娘さんが、『いやあ、うれしい、そう言っただけで』。その言葉にこちらもうれしくなった。今度また訪ねてみよう。ちなみにお店の名前は『チョット台所二居マス』。

2018/1/20  
(土)

大寒

蠟梅を求めて、大阪城公園梅林



2018/1/21  
(土)

仕事帰りに

京都で朝から仕事があった。夕方に終わり、京都FMで紹介していた別館の展示を觀に、丸太町から歩いて京都文化博物館へ。別館ホールの半分以上を白い糸が、一定間隔で配置された白いベッドから天井へ、天井から床上、床上から天井へ、シナプスのように張り巡らされている。一見の価値あり。

